

iFeeds (アイフィーズ)

Sandvine のリアルタイムのコンテキスト化されたインテリジェンス・フィード

主なメリット

- 納得のいく対象を絞ったオファーを作成するための販売とマーケティングに関するデバイス関連のインサイトを提供
- ネットワークを最適化して運用し、高い QoE を保証するために不可欠なリアルタイムのコンテキスト化されたインテリジェンスを提供
- 精度とカバレッジの保証のため頻繁に更新される拡張データにより既存のユースケースを強化
- ロケーションを必要とする規制遵守のユースケースを実現
- 専用のフレームワークによりマネジメントを簡素化

概要

オペレーターにとってアクセスやデータの量はこれまで障壁とはなっていませんでした。事実、問題は常にデータの関連性・精度そして利便性に関するものでした。ネットワークが 5G やクラウドのデプロイメントの新たなアーキテクチャへと進化し、インテリジェンスに基づくアクションを可能とするためデータのコンテキストがますます不可欠のものとなってきています。さらなるデバイス、アプリケーションおよびアクセスタイプの採用により、ネットワーク輻輳、品質やセキュリティの問題の根本原因を判断する上で明確な可視性と理解が不可欠の要件となっています。

しかしながら、多くのソリューションは必要となるコンテキストやインサイトをリアルタイムで提供することができず、事後的にこうした分析を実施する結果となっており、ビジネスやネットワークに関する意思決定をオペレーターが自信を持って行う際にあまり効果的ではありません。またこれはポリシー更新のために情報を常時利用できるようにするオートメーション戦略の有効性を大幅に制約するものです。

ネットワーク・インテリジェンスの第一人者として、Sandvine はオペレーターに対し世界トップクラスのネットワークを運用する上で必要となる可視性とコンテキスト化された認識を提供します。Sandvine のネットワーク・インテリジェンスは ANI ユースケースを強化し、アプリケーション、デバイスそしてロケーションを含む関連するコンテキストを基本的なネットワーク統計に追加することによりそれらを優れたものとしています。

iFEEDS

Sandvine の受賞歴のある ActiveLogic データプレーンはあらゆるアプリケーションのトラフィックを分類します。このプロセスの一環として、Sandvine は追加のアクション可能な属性によりデータを拡張し相関性を持たせるために一連のインテリジェンス・フィード (iFeeds) を利用することができます。これらのフィードは追加の分析、トラフィック管理そして課金コンテキストを増強するためにリアルタイムで追加することができ、様々な ANI ユースケースを強化します。

iFeeds は単一の可視性と施行ポイントを提供するために ANI Classification Engine に統合されている異なるデータフィードの集合体です (図 1)。それぞれのフィードには独特の機能があり、個別のユースケース要件に基づいた Sandvine の分類プロセスの一部として検証されます (テーブル 1)。

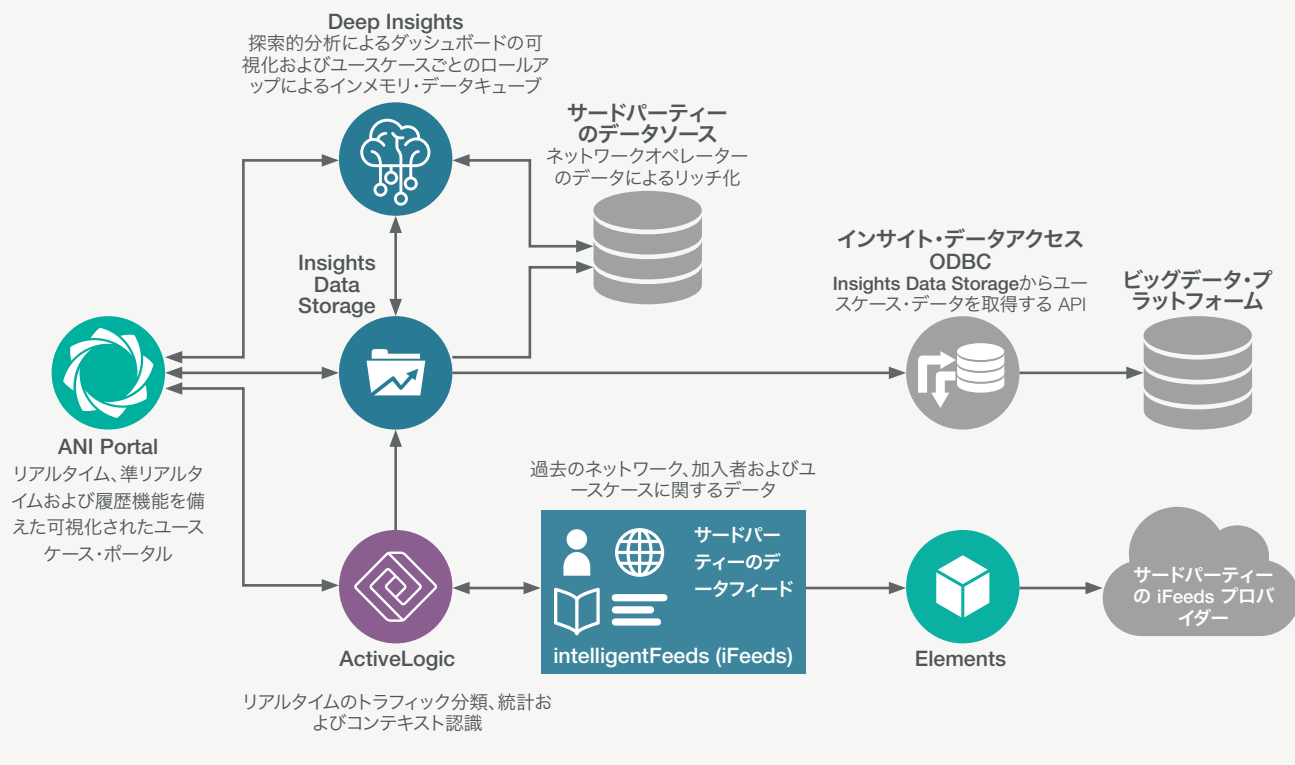
iFEEDS データベース

ContentLogic

ContentLogic によりインターネットサイトの柔軟なコンテンツのカテゴリー化が可能となり、洗練されたポリシー施行やコンテンツに基づいた課金を実現されます。

図 1

データベースのプラグイン方法と ANI Classification Engine



以下の ContentLogic データベースが Sandvine から入手できます:

- IWF (インターネット監視財団)**: 違法な児童虐待の画像やウェブサイトに関する IWF のフィードを対象としており、すべてのオペレーターによるこれらのサイトの遮断を義務付ける規制関連のユースケースにとって最適なものとなります。
- IFD (インターネット・フィルタリング・データベース)**: URL カテゴリ化を網羅しています。このデータベースは、ペアレンタルコントロールや規制関連のトラフィック管理を含むジェネリック URL のカテゴリ化に最適なものです。これは幅広い包括的なウェブのカテゴリ化ならびにドメイン、パスおよびページレベルのグループ化により脅威関連のインテリジェンスを提供します。毎日4回アップデートを提供し、分析およびルールセットに使用できる軽量バージョンである IFD-Lite を提供します。
- IAD (インターネット広告データベース)**: URL と広告のカテゴリ化を対象とし、ペアレンタルコントロール、規制関連のトラフィック管理を含むジェネリック URL カテゴリ化を必要とするユースケースに最適です。また加入者分析を含めブランドの安全性とコンテキスト化されたターゲティングも提供します。カテゴリには以下のようなものがあります。コンテンツ、インタラクティブ広告協会の Tier1/2、IAB コンテンツ、IAB 非標準および違法コンテンツ、有害性、および URL がブランドにとって安全で客観的なものであるかどうか。

DeviceLogic

DeviceLogic は HTTP と HTTPS のトラフィックフローを生成するために使用されるデバイスに関する綿密な情報を提供します。このデバイスのプロパティまたは属性はトラフィックフローにて確認されるユーザー・エージェントに基づいたものです。DeviceLogic の属性には名前、メーカー、ハードウェアのタイプなどがあります。

GeoLogic

GeoLogic は Active Network Intelligence のデータを地理的ロケーション (国、地域および都市) にマッピングされカテゴリ化された接続先 IP アドレス、経度/緯度情報を付したインターネット・サービスプロバイダー・レジストリ情報によりリッチ化します。これはセキュリティと規制遵守のユースケースにおいて極めて有効なものとなります。

Microsoft Office 365 OTT

Microsoft Office 365 OTT は Microsoft Office 365 サービスの細分化された分類を可能とします。トラフィックを単に Office 365 として分類するのではなく、Exchange、SharePoint、MS Office Common および Skype のトラフィックとして認識することができます。

テーブル 1

強化されたユースケース

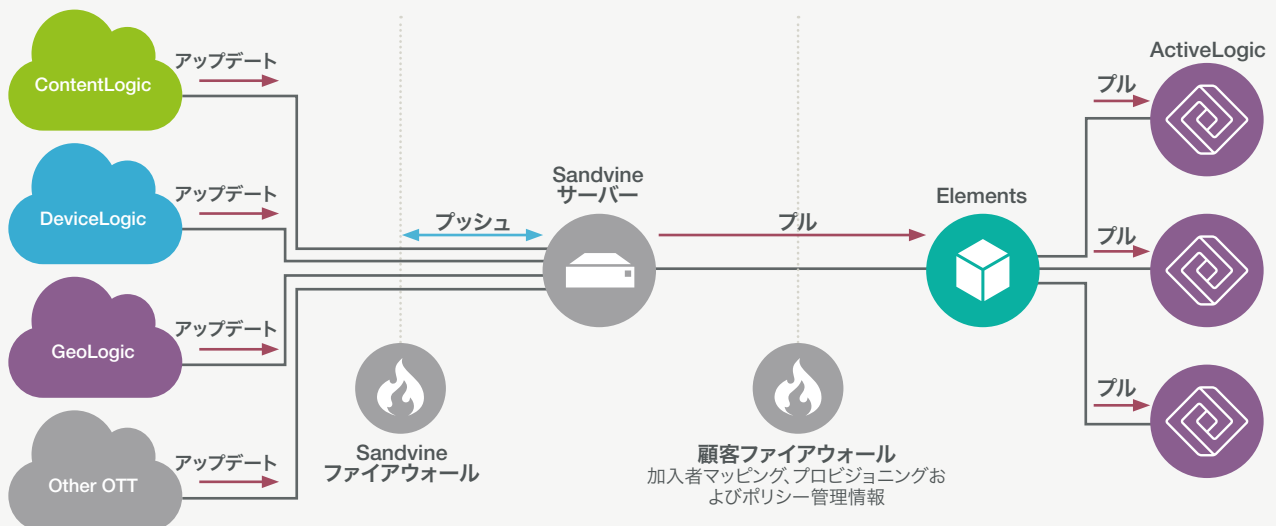
iFeeds	ユースケース	提供内容
ContentLogic	<ul style="list-style-type: none"> ペアレנטラルコントロール 規制上のトラフィック管理 サイバー脅威の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ペアレנטラルコントロール/分析/人口動態 ターゲットを絞ったデジタル広告 顧客定着率 URL フィルタリング アプリケーション制御 時刻管理(例、宿題の時間にソーシャルネットワーキング禁止)
GeoLogic	<ul style="list-style-type: none"> 規制上のトラフィック管理 (Geo Location による) サイバー脅威の分析 	<ul style="list-style-type: none"> Geo-Fencing (例、国別のコンテンツのブロック) ターゲットを絞ったオンライン広告 コンテンツのローカライゼーション サイバーセキュリティの強化
DeviceLogic	ユーザー行動の動態	<ul style="list-style-type: none"> デバイス別のトラフィック管理 分析および動態 場所に基づく広告
Microsoft Office 365 OTT	ネットワークパフォーマンス監視	<ul style="list-style-type: none"> Office 365 トラフィックの分類 <ul style="list-style-type: none"> アプリケーション制御 Office 365 サブスクリプション管理およびプラン・ステータス

iFEEDS マネジメント

iFeeds はユニークなフレームワークを提供しており、そこで専用データベースを Sandvine の業界トップクラスの分類インフラストラクチャに統合し、ネットワークトラフィックにおいて、より細かいコンテキストが必要となった際に ANI Classification Engine の拡張性と柔軟性を実現します。これは、ミッションクリティカルな分類フィードに対する高い可用性を確保するため地理的に冗長な自動化され拡張性の高いファイルベースの分散インフラストラクチャを利用します (図 2)。

図 2

iFeeds データフロー



それぞれの ActiveLogic インスタンスが Sandvine iFeeds 分散ネットワークへ接続します。デプロイメントの柔軟性を最大化するため、以下のトポロジーがサポートされています：

ActiveLogic 単一ノード

- データベースは ActiveLogic サーバーに保管されており、それが Sandvine サーバーに接続します

ActiveLogic 複数ノード

- Elementsは Sandvine サーバーに接続され、ActiveLogic はソースとしてElementsに接続されます
- ActiveLogic がElementsからデータベースをダウンロード
- ActiveLogic にユースケースに基づいてデータベースを有効にする選択肢があります

実際には、一つの ActiveLogic が ContentLogic をサポートし、別の ActiveLogic が GeoLogic、などをサポートすることができます

図 3

顧客ネットワークにおける典型的な iFeeds デプロイメント

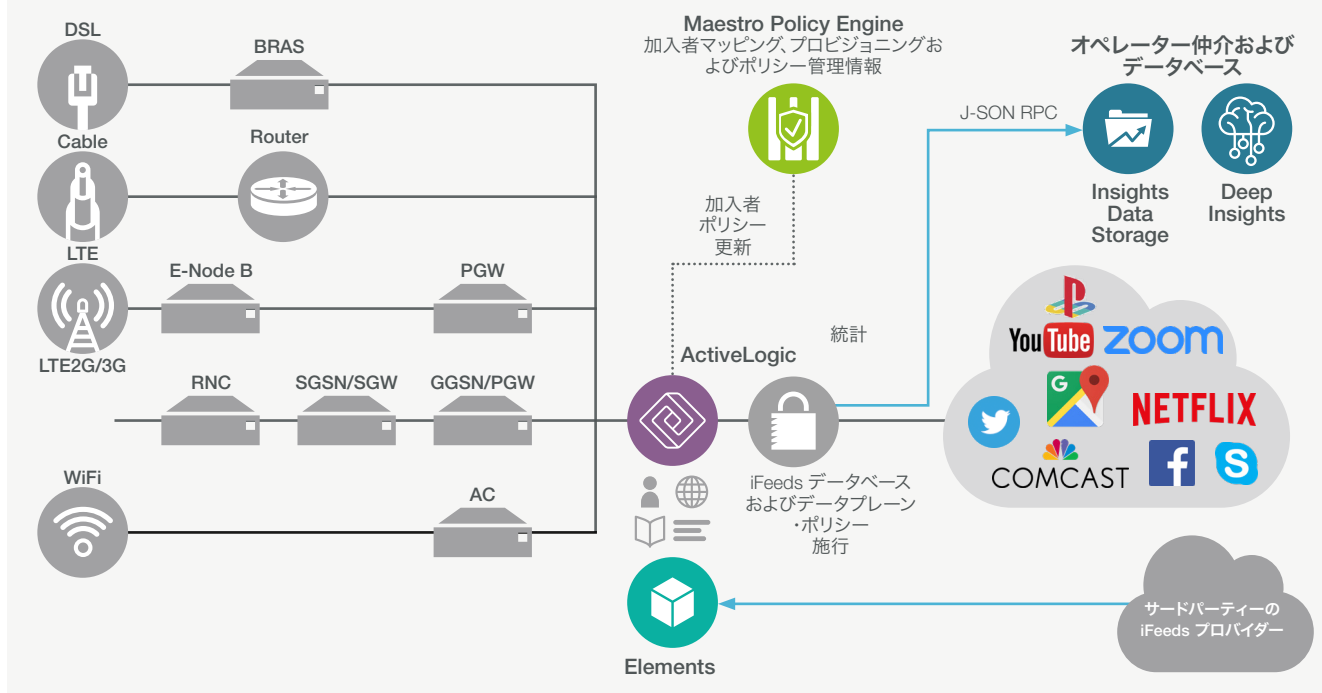


図 3 は、ペアレンタルコントロールのユースケースを対象とした顧客ネットワークにおける URL カテゴリー化、ContentLogic に関する Sandvine の iFeeds データベースのデプロイメントを示しています。ContentLogic は、セキュリティ・リスクに対する保護を強化するため頻りに更新されるフィッシングとマルウェアのカテゴリーを含め、ペアレンタルコントロールに最適な複数のコンテンツ・カテゴリーをサポートしています。コンテンツ・カテゴリー、アプリケーション、デバイスおよび時刻管理を含め、標準 API を通じてプロビジョニングされたポリシーの組み合わせを利用し、集中型オペレーターは納得のいくネットワークベースのペアレンタルコントロール機能を提供することができます。

iFeeds は、オペレーターに対し次の時代のネットワークの課題に対処するために適切であり正確で役に立つデータフィードを提供します。iFeeds によりオペレーターは追加のコンテキストを増強し Sandvine の ANI ユースケースを強化するためにリアルタイムで複数のソースからのアップデートや最新情報により構造化されたデータのストリームを継続的に取得します。



SANDVINE について

Sandvine のクラウドベースのアプリケーションおよびネットワーク・インテリジェンスにより顧客が高品質で最適化された体験を消費者や企業にお届けすることを支援しています。顧客は弊社のソリューションを使ってコンテキスト化された機械学習に基づくインサイトとリアルタイムのアクションを利用してアプリケーション体験を分析、最適化してマネタイジングすることができます。ユーザー、アプリケーション、デバイスならびにロケーションによるモバイルと有線ネットワーク上のトラフィックの95%以上を対象とする市場最先端の分類機能により、ユーザーとアプリケーションの間のやり取りを大幅に強化するユニークでリッチなリアルタイムのデータを生成し、収益を増加させます。詳細については、<http://www.sandvine.com> にアクセスするか、または@Sandvine の Twitter で Sandvine をフォローしてください。



米国
5800 Granite Parkway
Suite 170
Plano, TX 75024
USA

欧州
Svärdfiskgatan 4
432 40 Varberg,
Halland
Sweden
T. +46 340.48 38 00

カナダ
410 Albert Street,
Suite 201, Waterloo,
Ontario N2L 3V3,
Canada
T. +1 519.880.2600

日本
〒105-0021
東京都港区
東新橋2-12-1
PMO 6F
T. +81 3.6459.0345

Copyright ©2021 Sandvine Corporation. All rights reserved. 許可されていない複製は禁じられています。他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。Sandvine ウェブサイトで提供されている、または利用可能になったドキュメントなど、参照により本書に組み込まれているすべての文書を含む本ドキュメントは、Sandvine Corporation およびその関連会社（「Sandvine」）による条件、承認、保証、表明、またはいかなる種類の保証もなしに、「現状有姿」および「利用可能」を前提として提供され、アクセス可能になっています。また、Sandvine は、この文書の誤植、技術的またはその他の不正確さ、誤り、欠落について一切責任を負わないものとします。Sandvine の専有情報や機密情報、および/または企業秘密を保護するために、本文書では、Sandvine テクノロジーのいくつかの側面を一般化された用語で記述しています。Sandvine は、本文書に含まれる情報を定期的に変更する権利を留保しますが、Sandvine は、本文書への変更、更新、拡張、または他の追加を、お客様にタイムリーに提供すること、もしくは提供することを確約するわけではありません。